

## 大山崎町地域公共交通会議設置目的及び経過について

### ○設置目的

地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。（道路運送法の規定に基づき設置）

### ○会議設置以前までの経過（平成 23 年度）

大山崎町では、コミュニティバスの導入を検討するため、平成 24 年度に試験運行による運行を予定しており、そのルート、運行サービスについて検討しております。

町の現況としては、自動車の普及が進む中で、利用者が減少し、採算の難しくなったバス路線は運行本数を削減せざるを得ない状況となっています。一方で、高齢化が進み、買い物や通院が不便な方々が増えており、今後、この傾向は増々強くなることが予想されます。平成 24 年度末には長岡京市との境に阪急の新駅が開業予定です。町としましてはこれを転機ととらえ、住民サービスの一環として住民の足を守るために、既存路線を補完するかたちでコミュニティバスを導入できないか検討しています。

町では、平成 23 年度、京都大学大学院工学研究科（低炭素都市圏政策ユニット）へ、「大山崎町の交通政策に関する調査」を委託し、町民の交通ニーズやコミュニティバス導入に関する調査をお願いするとともに、前述の趣旨により平成 24 年 2 月には、住民対象のアンケートを実施し、あわせて京都大学へその分析、報告をお願いし、結果をいただいたところです。